

イノベーション・エコシステムの 光と影

DETAILS

日時 **2023年1月31日 (火)**
18:30 - 20:00
形式 **オンライン (Zoomウェビナー)**
言語 **日本語**

SPEAKER



永田 晃也 氏
九州大学 大学院経済学研究院
教授

DISCUSSANTS



斉藤 卓也 氏
国立研究開発法人理化学研究所
経営企画部長



坂本 剛 氏
QBキャピタル合同会社
代表パートナー

MODERATOR

隅藏 康一 氏
政策研究大学院大学 (GRIPS) 教授

参加登録はこちら

https://zoom.us/webinar/register/WN_1WvxzflyTgO9bGvhQriCTA

SciREX Seminar #42

モノとモノ、モノとサービスなどの結合が進化した現代の社会経済環境の下では、企業は単独でイノベーションを実現することができず、産業横断的なコミュニティの一員としてのみイノベーション・プロセスに関与することが可能となります。そのようなコミュニティが棲息する生態系が、近年、日本でもようやく誕生してきました。しかしながら、エコシステムにおいてはイノベーションの成功がパートナー企業に依存するといったリスクがあることなども指摘されています。今こそ、学術的な分析などを土台に、一度立ち止まって議論することが重要ではないでしょうか。

そこで今回のセミナーでは書籍『イノベーション・エコシステムの誕生—日本における発見と政策課題』（中央経済社）を取り上げ、編著者の永田晃也氏からその理論と現在の論点に関して話題提供いただきます。続く議論では、産業連携や地域支援に行政側から携わってきた斉藤卓也氏、九州地域の大学発ベンチャー支援に取り組む坂本剛氏をお招きし、参加者からの質問も交えながら、より多角的な視点から内容を深める予定です。揺籃期にある日本のイノベーション・エコシステムの現状や今後の在り方について、ぜひ一緒に考えましょう。

なお、同書の内容は、SciREX事業による共進化実現プロジェクトの一つ、「イノベーション・エコシステムの構成要件に関する調査・分析」（代表：永田氏）の成果がもとになっています。行政官と研究者の緊密な連携関係の上で進められた研究である点にもご注目ください。

お問い合わせ

政策研究大学院大学 (GRIPS)
科学技術イノベーション政策研究センター
広報担当 scirex-center@grips.ac.jp

ABOUT GUESTS



永田 晃也 氏 NAGATA Akiya

九州大学 大学院経済学研究院 教授

早稲田大学大学院経済学研究科修士課程修了。科学技術庁科学技術政策研究所主任研究官、北陸先端科学技術大学院大学助教授などを経て2010年より現職。12年より九州大学科学技術イノベーション政策教育研究センター（CSTIPS）センター長。14～15年度、研究・技術計画学会（現・研究・イノベーション学会）副会長。19年度～20年度九州大学大学院経済学府産業マネジメント専攻長。



斉藤 卓也 氏 SAITO Takuya

国立研究開発法人理化学研究所 経営企画部長

東京大学工学部卒業後、科学技術庁（現・文部科学省）入庁。カリフォルニア大学サンディエゴ校留学、ライフサイエンス課長補佐、在オーストラリア日本大使館一等書記官、会計課予算企画調整官、山内俊一内閣府特命担当大臣秘書官、基礎研究推進室長、徳島大学副学長、産業連携・地域支援課長、人材政策課長などを経て現職。



坂本 剛 氏 SAKAMOTO Tsuyoshi

QBキャピタル合同会社 代表パートナー

九州大学工学部卒業後、大企業・中小企業・ベンチャー企業を経験し、2004年から九州大学知的財産本部において大学発ベンチャー支援を行う。08年には九州大学経済学府産業マネジメント専攻にて経営修士（専門職）を取得。15年にQBキャピタルを設立、九州地域の大学発ベンチャーを支援する「QBファンド」の運営を開始。この他、事業構想大学院大学の特任教授なども務めている。



隅藏 康一 氏 SUMIKURA Koichi

政策研究大学院大学（GRIPS）教授

東京大学大学院工学系研究科にて博士号（工学）取得後、同学先端科学技術研究センター客員助手、同センター助手、政策研究大学院大学助教授、同学准教授を経て、2016年より現職。専門分野は、知的財産政策、科学技術政策。2012年6月から2015年5月まで文部科学省科学技術政策研究所（現・科学技術・学術政策研究所（NISTEP））第2研究グループ総括主任研究官を兼任。